



古志原小学校だより

えがおいっぱい

令和5年度No.9

9月20日

(文責 校長 小林 敏朗)

朝夕は随分と涼しくなってきたかなと感じられる日もありますが、日中は最高気温が30度を超える日がまだまだ多い状況です。これからも継続して熱中症対策にも気を配りながらの学校生活になりそうです。もうそろそろ、本格的な秋になってもいいのになと思っている今日この頃です。

さて、9月13日(水)の3~5時間目にかけて授業公開を行いました。お忙しい中、お出かけいただき、ありがとうございました。いつも授業公開ではあまり見られない(?)休み時間の様子や給食の準備に向かうところなども見ていただけたのではないかと思います。各学年では、国語や算数、道徳などに加え、人権についての学習、メディアに関する学習、夏休みの作品発表など、いろいろな授業が展開されました。どの学級でも、子どもたちが真剣に考えたり、発表したりする素敵な姿が多く見られました。これから2学期は、校外学習に出かけ、本物に触れる機会が多くなります。いろいろな学習の中で、子どもたち一人一人にとって、学びがどんどん増えたり深まったりしていくといいなと思っています。



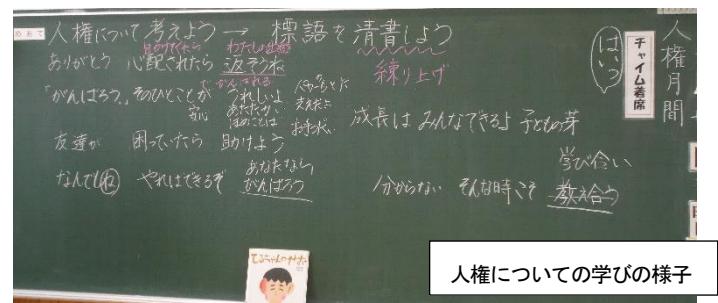
1年生 歯みがきの学習の様子

9月は人権月間として取り組んでいます

本校では、9月を人権月間として教育活動に取り組んでいます。9月13日(水)の授業公開の際にも校舎内のあらゆるところに人権標語が掲示されている様子をご覧になった保護者の皆さんもいらっしゃることと思います。また、授業公開では道徳の授業や子どもの権利条約の学習に取り組みました。その他、給食時の校内放送では人権に関わるお話をしました。人権標語づくりは全学年で取り組みました。人権標語をつくることももちろん大事ですが、そのつくる過程において「人権って何だろう?」と考えたり、自分の身の回りにある人権問題に目を向けたりすることが、子どもたちにとって大切な学びになっていると感じます。各学年の作品をみていくと、低学年では「なかよし」「やさしく」などの友達に対する言葉が多く出てきます。高学年になると、友達に対することにプラスして、現在のウクライナの状況や、平和学習で学んだ戦争のことなどを取り上げてつくっている子どもたちもいます。各学年に応じた学習をし、人権についての学びを深めながら、人権について考える、そして行動する9月になっています。



人権標語



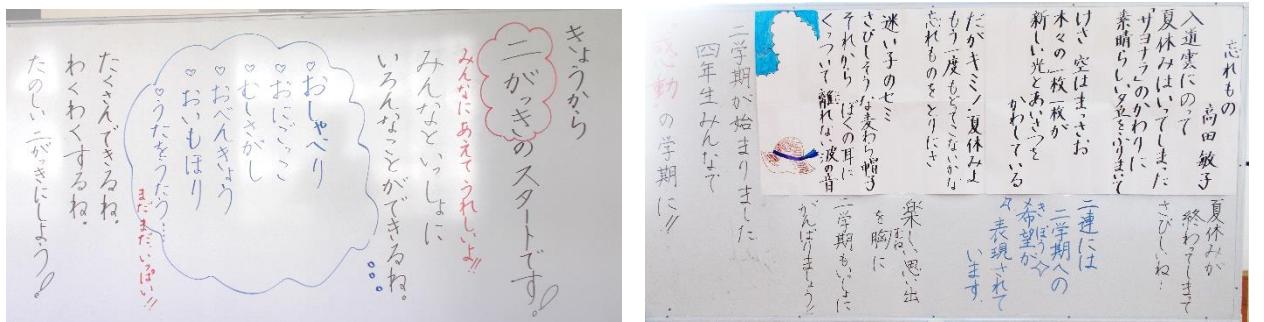
人権についての学びの様子

最後に、子どもたちがつくりました人権標語は、10月29日(日)の公民館まつりでも展示される予定です。是非、お出かけいただき、ご覧ください。

2学期のスタートの様子から…

2学期が始まり、およそ3週間が経ちました。子どもたちの様子を見ていますと、全体的に落ち着いて学校生活や学習に向かっている様子がうかがえます。今回の学校だよりでは、2学期のスタートの様子をお伝

えします。まずは、始業式の日に子どもたちを出迎えたホワイトボードのメッセージです。



どの学年も発達段階に応じたメッセージの中に、子どもたちへの思いが届けられているなど感じます。子どもたちもホワイトボードの前で立ち止まって、しっかりと読んでいました。

そして、いろいろな学年で、2学期に向けての学年集会が行われました。



多くの学年で、2学期に予定していること、どんなことをがんばる2学期にするのか、またどういう力を身につけてほしいかなどの話がありました。子どもたちは真剣に話を聞くことができました。ある学年では、学年集会の後、学級に帰って、次は学級としてどういうことをがんばるのか、そして「自分は～をがんばりたい」というような話し合いをしているところもありました。

せんだん（総合的な学習の時間）の学習の様子から…



4年生では、「共に生きる」をテーマに、1学期は福祉、2学期は環境についての学習に取り組みます。9月11日(月)には、島根大学の松本一郎先生をお迎えし、環境の話だけでなく、SDGsについても教えていただきました。テレビ等でSDGsはよく耳にする言葉ですが、話を聞いて理解も深まったようです。

5年生では、9月12日(火)に松江市国際交流員さんを6名お迎えし学習しました。フランスやアメリカ、中国や韓国、インドの方たちから、自国の文化や食事などについてお話を聞きました。また、松江にやってきて、よいところや困ったことなどについても聞きました。聞きながら、驚いたことも多くあったようです。